



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月14日

上場会社名 RPAホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6572 URL <http://rpa-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (5157) 6388
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（決算説明動画配信）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	8,228	13.0	268	△18.2	250	0.8	34	△11.0
2020年2月期第3四半期	7,283	24.8	328	△41.0	248	△53.6	38	△87.9

（注）包括利益 2021年2月期第3四半期 34百万円（△11.0%） 2020年2月期第3四半期 38百万円（△87.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	0.58	0.53
2020年2月期第3四半期	0.69	0.61

（注） 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	17,896	13,155	73.5
2020年2月期	18,028	13,106	72.7

（参考）自己資本 2021年2月期第3四半期 13,149百万円 2020年2月期 13,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	—
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	—	—

（注） 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	9.2	420	△10.8	370	△3.2	33	90.1	0.57
	～11,500	～14.2	～500	～6.1	～450	～17.8	～90	～418.3	～1.54

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	58,596,500株	2020年2月期	58,358,500株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	－株	2020年2月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	58,470,573株	2020年2月期3Q	55,982,752株

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会について)

当社は、2021年1月14日に決算説明動画を配信する予定です。この動画は、当社ホームページ (<http://rpa-holdings.com/>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の拡大が全世界的に猛威を振るい、依然として厳しい状況が続いています。段階的な経済活動の再開がみられ、一部持ち直しの動きも見られるものの、新型コロナウイルス感染の拡大に伴う緊急事態宣言の再発令もあり、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループはロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業の両事業ともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。さらに、新規事業であるRaaS事業の立ち上げに向けた先行投資を行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,228百万円（前年同四半期比13.0%増）、営業利益は268百万円（前年同四半期比18.2%減）、経常利益は250百万円（前年同四半期比0.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34百万円（前年同四半期比11.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

ロボットアウトソーシング事業

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!Basic」、「BizRobo!mini」、8月に提供を開始した「BizRobo!Lite」ともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。一方でエンジニアリング、コンサルティング等の受託型案件は、顧客企業での外部への委託の縮小などの影響が発生し、引き続き受注が減少しました。

その結果、売上高は2,275百万円（前年同四半期比17.1%減）、セグメント利益（営業利益）は238百万円（前年同四半期比36.7%増）となりました。

ロボットトランスフォーメーション事業

ロボットトランスフォーメーション事業においては、金融、通信カテゴリにおいて売上高が大きく伸長しました。

その結果、ロボットトランスフォーメーション事業では、売上高は5,724百万円（前年同四半期比31.9%増）、セグメント利益（営業利益）は493百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

RaaS事業

RaaS事業においては、汎用ロボットによるサービスを提供するRaaS（Robot As A Service）の本格展開に向けた先行投資を引き続き行いました。

その結果、RaaS事業では、売上高は14百万円（前年同四半期比33.3%減）、セグメント損失（営業損失）は215百万円（前年同四半期は162百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が466百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が281百万円、その他の流動資産が204百万円減少したことによるものであります。固定資産は3,581百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が111百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は17,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,142百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が49百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,599百万円となり、前連結会計年度末に比べ222百万円減少いたしました。これは主に社債が200百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,741百万円となり、前連結会計年度末に比べ180百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は13,155百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を34百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は73.5%（前連結会計年度末は72.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる先行きの不透明感が極めて強い状況下において、業績に及ぼす影響を算定することが困難な状況のため、レンジ形式により開示しておりました。

2021年2月期第3四半期が経過、緊急事態宣言が再び発令され、引き続き想定される影響を反映する修正をいたしました。

ロボットアウトソーシング事業においては、新規ライセンスの導入は順調に増加しておりますが、新型コロナウイルスによる企業業績の不透明さにより、企業の外注費用の抑制傾向は継続しており、コンサルティング・エンジニアリング等の受託型案件の受注の減少が継続しております。ロボットトランスフォーメーション事業においては、金融、通信カテゴリは順調に成長しているものの、主力の人材カテゴリは企業の採用活動が停滞していることで引き続き人材カテゴリの売上高が前年より減少が続いております。

以上より、レンジの上限の売上高予想を11,500百万円に修正し、これに伴い営業利益、経常利益、当期純利益予想につきましても修正いたしました。

なお、今後の感染拡大や収束の状況等によって業績は大きく変動する可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,394,441	12,860,495
受取手形及び売掛金	1,313,198	1,031,365
仕掛品	634	11,302
その他	616,751	412,365
貸倒引当金	△1,094	△52
流動資産合計	14,323,930	14,315,477
固定資産		
有形固定資産	23,996	139,813
無形固定資産		
のれん	1,348,571	1,278,917
ソフトウェア	743,938	817,544
ソフトウェア仮勘定	250,985	120,004
その他	72	72
無形固定資産合計	2,343,568	2,216,540
投資その他の資産	1,336,707	1,224,748
固定資産合計	3,704,271	3,581,102
資産合計	18,028,202	17,896,579
負債の部		
流動負債		
買掛金	848,016	589,312
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	237,250	287,196
未払法人税等	29,700	190,316
賞与引当金	67,279	62,394
変動報酬引当金	133,122	95,158
その他	584,030	717,801
流動負債合計	3,099,399	3,142,178
固定負債		
長期借入金	1,122,000	1,099,138
社債	700,000	500,000
固定負債合計	1,822,000	1,599,138
負債合計	4,921,399	4,741,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,881,796	5,888,936
資本剰余金	6,017,915	6,025,055
利益剰余金	1,201,828	1,236,007
株主資本合計	13,101,540	13,149,999
新株予約権	5,263	5,263
純資産合計	13,106,803	13,155,263
負債純資産合計	18,028,202	17,896,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	7,283,012	8,228,469
売上原価	4,768,969	5,616,533
売上総利益	2,514,042	2,611,936
販売費及び一般管理費	2,185,349	2,343,121
営業利益	328,693	268,815
営業外収益		
受取利息	50	54
受取保険金	—	7,152
その他	723	7,452
営業外収益合計	773	14,659
営業外費用		
支払利息	18,441	15,860
支払手数料	23,546	257
株式交付費	24,045	—
社債発行費	8,568	—
投資事業組合運用損	3,647	7,524
為替差損	509	777
その他	2,013	8,469
営業外費用合計	80,772	32,890
経常利益	248,694	250,584
特別損失		
関係会社清算損	491	—
特別損失合計	491	—
税金等調整前四半期純利益	248,202	250,584
法人税等	209,818	216,404
四半期純利益	38,384	34,179
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,384	34,179

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	38,384	34,179
四半期包括利益	38,384	34,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,384	34,179
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボット トランス フォーメ ーション 事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	2,745,744	4,338,737	21,465	7,105,947	177,065	—	7,283,012
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	91,659	290,203	23,202	405,064	46,389	△451,453	—
計	2,837,403	4,628,940	44,667	7,511,012	223,454	△451,453	7,283,012
セグメント利益 又は損失(△)	174,175	503,695	△162,831	515,039	70,687	△257,034	328,693

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△257,034千円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボット トランス フォーメ ーション 事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	2,275,901	5,724,377	14,311	8,014,590	213,878	—	8,228,469
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,080	6,698	31,735	44,513	13,520	△58,033	—
計	2,281,981	5,731,076	46,047	8,059,104	227,398	△58,033	8,228,469
セグメント利益 又は損失(△)	238,118	493,925	△215,840	516,203	△3,544	△243,843	268,815

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△243,843千円は、主に各セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。